総合型選抜について

・生体制御学科の総合型選抜は、大学入学共通テストを課さず、皆さんの意欲・適正・能力などを総合的に評価する試験です。
・高等学校において生物を履修し、多様な生命現象に興味を持つ現役生を対象とした自己推薦型の選抜です。
・合格した際に、本学科への入学を確約できる方が対象です。

選抜の流れ

【書類審査】

応募者から提出された志望理由書や活動報告書などの書類を審査します。応募者が一定数を超えた場合、書類審査により１次選抜を行う場合があります。

【講義型試験】

本学で実施される講義を受講します。受講日に小テストを実施します。また、講義に関するレポートを課します。
講義型試験は２回実施します。

【面接試験】

面接試験では、修学に関する意欲・適正・能力などを総合的に評価します。加えて、生物学および英語に関する口頭試問を実施します。

【合格発表】

合格者には、大学で必要とされる素養を身に着け、円滑な大学生活が送れるようになるため、入学までの期間、課題に取り組んで頂きます。

総合型選抜の合格実績

生体制御学科の総合型選抜は、令和3年度に導入され、
5名が合格しました。

合格者の声

私は生体制御学科で学びたいという強い希望があり、受験の機会が多くなるだけでなく、試験内容にも興味を惹かれ、総合型選抜を受験しました。講義型試験は少し難しいと感じましたが、講義自体は新鮮で面白かったです。面接での口頭試問は、生物が好きな人であれば答えられる難易度だったと思います。今後は、生物学をより深く学ぶと同時に、サイエンス・インカレにも挑戦してみたいと考えています。

Sさん（埼玉県）

総合型選抜は、講義型試験と面接試験がありました。講義は、緊張や不安を感じるよりも、自分が知らなかった知識を学ぶことができ楽しかったです。面接の英語には少し不安がありましたが、気持ちを切り替えて返答できたと思います。現在は、高校の教員になることを目指して、アクティブなキャンパスライフを過ごしています。

Sさん（沖縄県）

一般入試について

生体制御学科の入試は、総合型選抜以外に大学入学共通テストを課す、前期日程（総合問題）と後期日程（小論文）の一般入試があります。
総合型選抜を一度受験した場合でも、一般入試を受験することができます。

入試に関する詳細は、埼玉大学の入試関連Webサイトを参照ください。